Library News
京教図書館ニュース
2011年6月号　No.129

私のすすめるこの1冊

丸山　啓史（発達障害学科　講師）

『これでいいのだ 怠けの哲学』
トム・ホジキンソン　著

原題は“How to be Idle”。いかに怠けて過ごすか、一日をたどるように 24 章にわたって語られています。たとえば、午前 8 時は「起床」、「愚か者が早起きをする」が見出しです。午前 9 時は「仕事」ですが、「何も週に五日も働くことはない」と書かれています。午前 10 時は「寝過ごす（ひらめきはベッドのなかで）」、午前 11 時は「さぼる（ずる休みこそ蜜の味）」になっていて、午後 3 時になれば「昼寝（この欲求に抗うべからず）」があり、午後 4 時には「お茶の時間（金の亡者がコーヒーを飲む）」があります。そして、「眠る」の章では、電球のせいで夜も働かされるようになったと、エジソンが槍玉に挙げられます。

ふざけているように思われるかもしれません。たしかに、大真面目に読む本ではないでしょう。けれども、著者の視点は鋭く、鮮明です。「あまりにも仕事が幅をきかせるわれわれの社会の風潮に危険なものを感じた」という著者は、ユーモアたっぷりに現代社会のおかしさを描きます。「病気」の章では、「鼻水にストップをかけて仕事に戻ろう」という製薬業界の宣伝文句に触れ、「薬ではなく転地療養を！」と訴えます。

著者が攻撃を仕掛けるのは、「仕事」に対してだけではありません。「生産性」や「効率」ばかりが重視されることに疑問を投げかけ、皮肉っぽくバカにしているようにみえます。午後 5 時の「散歩」では、「ぶらぶら歩こう」と呼びかけ、「孤高を保ち、賢く陽気に神々しささえ漂わせて歩きまわる。これこそ自由というものだ」と言います。著者によれば、「ぶらつくという行為そのものが、じつは反逆行為」であり、「ブルジョア的価値観への抗議であり、目的の追求を最優先させる生きかたへの抗議であり、忙しさ、あわただしさ、つらい仕事、骨折りへの抗議」なのです。

世間で当たり前のように思われていることに対する批判的視点を学べること、夢のある生活について考えを深められることなど、この本の意義はいくつか挙げることができます。しかし、この「役に立つから良い本ですよ」という発想こそ、この本が胡散臭げな眼差しを向けるものかもしれません。

著者のメッセージは明快です—「オアシスのひととき、ランチをとり戻そう」「たっぷり眠ろう」「人生を楽しもう」。著者は言います—「健康、富、幸福を手に入れたいあなた、まずは目覚まし時計を処分しましょう。そこからすべてが始まる」。

『これでいいのだ 怠けの哲学』 著者:トム・ホジキンソン　訳者:小川敏子
発行者:ヴィレッジブックス　発行年:2006 年　ISBN:9784863328105　750 円　購入手続き中

第16回「うたとおはなしの会」報告

開催年月日 ： 2011 年 4 月 29 日(金) 11:00～12:00

第 16 回「うたとおはなしの会」が、4 月 29 日(昭和の日)に「幼児教育演習室」で行われた。当日は晴天にも恵まれ、約 120 名の親子で会場は満員となった。

今回は大型連休の初日ということもあり、会場には保育所で製作したばかりのこいのぼりをもって参加する子どもの姿も見られた。プログラム 3 番のパネルシアター「こいのぼりのかぞく」で、こいのぼりの生活が楽しい歌にのせて紹介されると、子どもたちは時おり笑顔を見せながら演じ手の学生の問いかけに嬉しそうに応えていた。また、毎回大好評の楽器遊びコーナーでは、子どもたちの大好きな「さんぽ」や「It’s a small world」が吹奏楽の楽器(トランペット、ユーホニウム、トロンボーン、ドラム)で演奏され、大きな声で一緒に歌ったり手拍子したりする子どもたちの姿がたくさん見られた。1 歳の女の子と参加した母親からは、「演奏中、娘が音楽に合わせてノリノリで踊ってました！」という感想が聞かれた。

そして、今回のプログラムの中で最も注目を浴びたのが、人形劇「こぶとりじいさん」である。使用した人形は、京都市で人形工房を主催している平野利絵さん(保育者として活躍後、人形劇の人形制作に携わり、今年 4 月からレンタル人形工房を開始)の作品である。従来「うたとおはなしの会」で使用してきた人形は、ハンドパペットタイプの小さいもの(30 ㎝前後)が多かったが、今回の人形は一体が1m前後もある大型のものであり、「動きが大きく迫力があった」「子どもたちの集中度が高かった」「0 歳児の娘が最後までじっと集中して見ていた」と多くの参加者から好評を得ることができた。演じている学生自身も、「日本の昔話に取り組むのは初めてだったけど、人形の扱いに慣れてくると自分の動きと一体化してきて、楽しく演じることができた」と感想を述べていた。

最後は、4 月に入学したばかりの幼児教育専攻 1 回生が登場し、「にんげんっていいな」を元気いっぱいに歌うと、会場の参加者も加わって大合唱となった。終了後も、「こぶとりじいさん」で登場した人形たちと一緒に写真を撮ったり、学生手づくりのお土産（折り紙のこいのぼり）をもらって、楽しそうに帰っていく親子の姿が多く見られた。終了後のアンケートでは「学生の皆さんがとても楽しそうなので、こちらも元気になれました。」「毎回、趣向を凝らしていて、違う内容なのでとても楽しい！」「年 2 回でなく、もっとやってほしい！」など、多くの意見が寄せられた。

「うたとおはなしの会」は回を重ねるたびに、参加者からの意見を参考に内容の検討、表現技術の向上に取り組んできたが、その成果が少しずつ実現されつつあると感じる。今後も、地域の子どもたちや保護者の心の拠り所となるような会を目指し、学生と一緒に一歩一歩、歩んでいきたい。

（幼児教育科　平井恭子准教授）

図書館からのお知らせ

◆6 月の論文検索・収集法講座は海外論文編です◆

海外文献データベースの使い方などを、基礎から学べる講座です。ぜひこの機会にご参加ください。

場　　所：京都教育大学附属図書館
所要時間：約 60 分 （探索実習オプションをつけない場合、説明のみで約 30 分）
日　　時：下記の通り

No.	開催月日	曜日	午前	午後
1	6 月 3 日	金	海外編　11:00～12:00	
2	6 月 6 日	月		海外編　15:00～16:00
3	6 月 8 日	水		海外編　15:00～16:00
4	6 月 14 日	火	海外編　11:00～12:00	
5	6 月 20 日	月	海外編　11:00～12:00	
6	6 月 22 日	水		海外編　15:00～16:00

申込方法：
申込書をカウンターに提出するか、希望日時・氏名を明記の上、メールにてお申し込みください。
パソコン台数の関係上、先着 10 名様までとさせていただきますので、できるだけ事前にご予約ください。ただし、人数に余裕があれば当日の参加も大歓迎です。

◆日本文学 Web 図書館「和歌ライブラリー」８月末までトライアル中！◆

『新編国歌大観』（角川学芸出版）と『新編私家集大成』（古典ライブラリー）を検索できるデータベース「和歌ライブラリー」が、8 月末までの期間限定で利用できます。附属図書館のトップページからリンクしていますので、学内 LAN 環境下でご利用下さい。

※ご利用の際は、専用のアプリケーションのダウンロードが必要となります。図書館内の検索用端末２台はダウンロード済みですが、それ以外の共用端末(IPC　等)では毎回ダウンロードが必要となります。詳しくは附属図書館ホームページをご覧ください。

～　図書館開館スケジュール　～

2011年　6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			休	●	●	▲
5	6	7	8	9	10	11
休	●	●	●	●	●	▲
12	13	14	15	16	17	18
休	●	●	●	●	●	▲
19	20	21	22	23	24	25
休	●	●	●	●	●	▲
26	27	28	29	30		
休	●	●	●	●		

2011年　7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					●	▲
3	4	5	6	7	8	9
休	●	●	休	●	●	▲
10	11	12	13	14	15	16
休	●	●	●	●	●	▲
17	18	19	20	21	22	23
休	休	●	●	●	●	▲
24	25	26	27	28	29	30
休	●	●	●	●	●	▲
31						
休						

＜カレンダーの見方＞

日付 ●	9:00～21:00
日付 ▲	9:00～17:00
日付 休	休館日

6 月 1 日（火）は創立記念日のため休館
7 月 6 日（水）は館内整理日のため休館

論のくちび　理のむすび

京都教育大学紀要（大学発行の学術雑誌）に掲載された論文を、執筆した先生本人にご紹介いただくコーナーです

Search for the Ultimate Real: the Collapse of Narrative in *Shirley*

奥村　真紀

奥村真紀（英文学科　准教授）
京都教育大学紀要　No. 118　pp. 53-64　平成 23 年 3 月

1849 年に出版された『シャーリー』という小説は、『ジェイン・エア』の爆発的な人気を受けて、シャーロット・ブロンテが初めて有名作家として出版した小説である。題材を探し求め、信頼する友人に助言を求めたあげく、彼女が次の作品として出版したのは、1810 年代のラダイト運動を背景とする小説だった。メロドラマ的に過ぎると批判された『ジェイン・エア』との違いを鮮明にしようと作者が苦心したにもかかわらず、その努力は水泡に帰し、同時代の読者は『シャーリー』に失望し、現在に至るまで批評家たちもこの作品を失敗作だと位置づけてきた。確かに『シャーリー』という作品はテーマやスタイルが一貫せず、物語を語る語り手の視点すら、主観的立場と客観的立場の間を揺れ動く不安定なものであるため、プロットが統一せずいびつな感じを受けることは否めない。本論文は、この小説の統一性のなさが何に起因するかを、語りが破綻していく仕組みを追いながら検証している。

『シャーリー』の語りの破綻は、客観的な状況小説的リアリズムからフェミニズム的プロパガンダ、そしてロマンスの主観的真実へと、作者が常に揺れ動きながらも自分にとってリアルなものを探し求めるその意識の変化の過程そのものを示している。本当の真実はどのように表現できるのかという探求を続ける作者の姿勢は、自らが描き出した「真実」に安住せず、それを拒否して次の「真実」を探し続けるという試みでしか表出されえず、それは結果としてプロットすら崩し、物語をほころびさせてしまう。しかし、逆説的に、探し求める「真実」を次々に否定するしかないというそのパワフルな語りの破綻の過程それ自体が、否定を通じて究極の「真実」を探し求める作者の挑戦であり、誠実な試みの記録となっているのである。

本タイトルの論文は京都教育大学紀要 118 号に掲載されています。
後日、京都教育大学リポジトリ「クエリ（KUERe）の森」http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/ にも公開予定です。

★小説『シャーリー』は図書館にもあります。ぜひご利用ください★

原著：Charlotte Brontë, *Shirley.*　配架場所：書庫 4 階　請求記号：933||B75　資料 ID：9111002111
訳書：『シャーリー』シャーロット・ブロンテ著　配架場所：全集室（ブロンテ全集の 1 部）
［上巻］請求記号：938||B75||3　資料 ID：9971041580
［下巻］請求記号：938||B75||4　資料 ID：9971041591

●京都教育大学附属図書館ホームページはこちらから　http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/
●携帯版図書館ホームページはこちらから
http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm
右記の QR コードからも
アクセスできます

京教図書館 News　No. 129（2011 年 6 月号）
発行日：平成 23 年 6 月 1 日
編集発行：京都教育大学附属図書館
内容に関するお問い合わせ先：library@kyokyo-u.ac.jp

京都教育大学